

アジアの民話ってどんなお話？ なぜ母語が大切なの？ ～2月21日は国際母語デー～

●世界の約6000言語のうち、95%が消失してしまう？

各民族が長い歴史のなかで築き上げてきた文化とそれを支える言語は人が持つ豊かな可能性の現れ。それが消えるということは人間の尊厳や自尊心が失われることにつながります。

カンボジアの初等教育を支える「ハンカチの木」代表の木村瞳さんをお迎えして、なぜ母語が大切なのかを一緒に考えます。

●日本初公開! アジアの民族絵本の読み聞かせ

SVAでは、教育支援の一環として、カンボジア・ラオス・ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ・アフガニスタンで民話絵本を出版しています。

今回は、2009年に出版した24タイトルの中から特に面白いお話をピックアップし、読み聞かせをします。



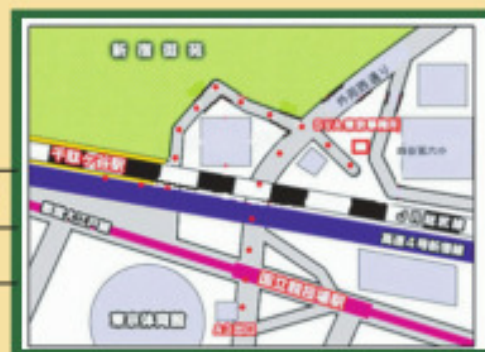
日時 **2010年2月16日(火)** 19:00～20:30 (開場18:30)

プログラム 19:00 開会
19:03～19:20 木村瞳さんのお話
「母語と絵本 (おはなし)」
19:20～20:10 民話絵本の読み聞かせ
20:10～20:25 読書タイム、質疑応答
20:30 終了

会場 **SVA東京事務所** (最寄駅 JR総武線 千駄ヶ谷駅/信濃町)

定員 30名

入場料 無料。ただし、古本を一冊以上お持ちください。
(リサイクル・ブック・エイドを通じて、アジアの子どもたちの教育支援に充てさせていただきます)



申込先/お問い合わせ **社団法人シャンティ国際ボランティア会 (SVA)**
東京都新宿区大京町31 慈母会館2F
国内事業課 亀井
pr@sva.or.jp TEL 03-6457-4585 www.sva.or.jp